

狭山市地域福祉推進計画
親子アンケート調査報告書

平成29年4月

狭山市、社会福祉法人狭山市社会福祉協議会

目 次

第1節 調査の概要	・・・	1
第2節 クロス集計の結果【市民調査共通箇所】	・・・	2
(1) 「悩みや不安」に関すること	・・・	2
(2) 近所づきあいに関すること	・・・	6
(3) 地域活動に関すること	・・・	11
(4) 災害時に住民が支え合う地域づくりに関すること	・・・	17
(5) 身近な地域とこれからの地域福祉に関すること	・・・	19
第3節 クロス集計の結果【親子調査独自箇所】	・・・	22
(1) 児童・生徒の学年等による差異	・・・	22
(2) 保護者の福祉教育・家庭教育の考え方に関すること	・・・	26
(3) 児童・生徒と保護者の考え方の差異	・・・	29

親子アンケート調査報告

第1節 調査の概要

(1) 調査の目的

狭山市地域福祉推進計画の中間評価を行うにあたり、狭山市民の福祉に関する意識及び潜在的なニーズ等を把握するとともに、今後の地域福祉に関する計画のあり方を検討するための基礎資料とすることを目的に実施しました。

なお本報告は、平成29年1月に行った単純集計結果を分析するために、いくつかの設問回答に対するクロス集計を行ったものです。

(2) 調査対象世帯

779世帯(市内の公立小学校の5年1組または中学校2年1組に在籍する児童・生徒及びその保護者)

(3) 調査方法

学校を通じた配布・回収

(4) 調査期間

平成28年10月3日(月)から27日(木)まで

(5) 回収結果

- ① 配布数：779票
- ② 有効回収数：639票
- ③ 回収率：82.0%

(6) 注意事項

- ① 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。
- ② 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常の100%を超えます。
- ③ 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いることがあります。

第2節 クロス集計の結果【市民調査共通箇所】

(1) 「悩みや不安」に関すること

1. 年代別の「悩みや不安」(保問2、保問13)

	Q13：年代別の悩み	1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	回答者数	0	196	395	34	2	1
1	健康・病気		29.6%	37.7%	38.2%	50.0%	0.0%
2	老後・将来		30.6%	35.4%	44.1%	50.0%	0.0%
3	家計・金銭的なこと		49.0%	45.3%	44.1%	0.0%	0.0%
4	家族の介護		8.2%	10.4%	29.4%	0.0%	0.0%
5	災害・地震		17.3%	15.2%	8.8%	0.0%	0.0%
6	子育て・教育		43.4%	43.8%	44.1%	50.0%	0.0%
7	生きがい		1.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
8	住まい		2.6%	1.3%	2.9%	0.0%	0.0%
9	治安・防犯		13.3%	12.7%	17.6%	0.0%	0.0%
10	近隣関係		5.1%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
11	仕事		7.7%	9.1%	8.8%	0.0%	0.0%
12	特にない		11.2%	11.9%	5.9%	0.0%	100.0%
13	その他		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	回答総数		429	896	83	3	1

小中学生を抱える保護者では、どの年齢層でも「金銭・家計のこと」や「子育て・教育」の不安が多いが、年齢層が高いほど「老後・将来」の不安が高くなっている。また、50歳代で「家族の介護」の不安が高くなっている。一方で、年齢層が低いほど「災害・地震」の不安が高くなっている。

2. 年代別の「悩みや不安」の相談先（保問2、保問14）

Q14：年代別の悩みごと相談先		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数		0	164	341	30	2	0
1	家族・親族		88.4%	77.4%	70.0%	50.0%	
2	知人・友人		68.9%	58.1%	53.3%	50.0%	
3	隣近所の方		11.6%	5.9%	3.3%	0.0%	
4	民生委員・児童委員		0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
5	自治会役員		0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	
6	職場の人		10.4%	14.1%	0.0%	0.0%	
7	医療機関		6.7%	5.6%	10.0%	0.0%	
8	市役所		0.6%	0.9%	3.3%	0.0%	
9	社会福祉協議会		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
10	NPO法人		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
11	ボランティア団体（配食・サロン・話し相手等）		0.0%	0.6%	3.3%	0.0%	
12	福祉施設（保育所、障害者施設、特養等）		1.2%	0.3%	0.0%	0.0%	
13	相談機関（地域包括支援センター等）		0.6%	0.9%	6.7%	0.0%	
14	教育機関（幼稚園・保育園・学校等）		3.7%	5.0%	0.0%	0.0%	
15	相談できる人や相談先がない		1.8%	6.7%	3.3%	0.0%	
16	相談したくない、自分で解決する		4.9%	5.6%	6.7%	50.0%	
17	その他		1.8%	1.2%	0.0%	0.0%	
回答総数			330	623	48	3	0

年齢層が低いほど、「家族・親族」や「知人・友人」への相談が多い。

3. 「悩みや不安」とその相談先（保問13、保問14）【回答数100に抜粋】

Q 14	Q13	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	暮らしの中の 悩み・不安と その相談先	健康・病気	老後・将来	家計・金銭的 なこと	家族の介護	災害・地震	子育て・教育	生きがい	住まい (ゴミ・騒音)	治安・防犯	近隣の 人間関係	仕事
	回答数	32	34	59	8	17	52	1	4	14	5	9
1	家族・親族	81.3%	76.5%	78.0%	62.5%	94.1%	82.7%	100.0%	100.0%	85.7%	80.0%	55.6%
2	知人・友人	53.1%	52.9%	47.5%	62.5%	70.6%	61.5%	0.0%	50.0%	57.1%	60.0%	55.6%
3	隣近所の方	0.0%	2.9%	3.4%	0.0%	17.6%	7.7%	0.0%	25.0%	21.4%	20.0%	0.0%
4	民生委員・児童委員	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	自治会役員 (自治会長・班長)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6	職場の人	9.4%	8.8%	3.4%	12.5%	11.8%	5.8%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	11.1%
7	医療機関	15.6%	0.0%	1.7%	0.0%	23.5%	13.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%
8	市役所	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
9	社会福祉協議	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10	NPO法人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11	ボランティア団体 (配食・サロン・話相手等)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12	福祉施設（保育所、障害者施設、特別養護老人ホーム等）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13	相談機関（地域包括支援センター、ケアマネージャー等）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
14	教育機関（幼稚園・保学校等）	9.4%	5.9%	6.8%	12.5%	5.9%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
15	相談できる人や相談先がない	0.0%	5.9%	3.4%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
16	相談したくない、 自分で解決する*	0.0%	11.8%	10.2%	0.0%	0.0%	5.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
17	その他	3.1%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	総回答数	57	56	93	12	38	105	1	9	25	8	16

「悩みや不安」の相談先として「家族・親族」や「知人・友人」には相談内容にほとんど偏りは見られない。

小中学生を抱える保護者ということもあり、「教育機関」に対して「健康・病気」「家族の介護」「子育て・教育」「仕事」の相談が多い。

4. 「相談先がない」人と「相談したくない」人の理由 (保問14、保問15)

Q 15	Q14	15	16
	「相談先がない」と「相談したくない」 の理由	相談先がない	相談したくない
	回答者数	23	26
1	自分でギリギリまで頑張りたいから	8.7%	38.5%
2	誰に相談をすれば良いのか分からない	39.1%	7.7%
3	気軽に相談できる相手がないから	30.4%	3.8%
4	自分や家族のことを他人に知られたくないから	17.4%	19.2%
5	その他	0.0%	23.1%

「相談先がない」人は、「誰に相談をすれば良いのか分からない」「気軽に相談できる相手がないから」という理由を回答している人が多い。

一方で「相談したくない」人は、「自分でギリギリまで頑張りたいから」という理由を回答している人が多い。

(2) 近所づきあいに関すること

5. 年代別の近所づきあいへの考え方 (保問2、保問16)

Q16：年代別の近所付き合い		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	回答者数	0	196	395	34	2	1
1	日頃から大切にしている		26.0%	31.9%	35.3%	0.0%	0.0%
2	万一の際は、互いに助け合えるよう心がけている		31.1%	30.6%	32.4%	50.0%	100.0%
3	顔や名前ぐらいは、知っている		28.6%	28.1%	20.6%	0.0%	0.0%
4	プライバシーがあり、あまり関わらないようにしている		7.7%	3.8%	5.9%	0.0%	0.0%
5	関わりたくない、またはその必要がない		3.1%	1.5%	5.9%	0.0%	0.0%
6	その他		1.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	回答総数		192	389	34	1	1

年齢層が高くなるほど、近所づきあいを大切にしている傾向が強い。

6. 居住年数と近所づきあいへの考え方 (保問4、保問16)

Q4 居住年数と 近所付き合い		1	2	3	4	5	6
		1年未満	1～5年	6～9年	10～19年	20～29年	30年以上
	回答者数	20	110	171	288	19	24
1	日頃から大切にしている	15.0%	25.5%	32.7%	28.8%	52.6%	45.8%
2	万一の際は、互いに助け合えるよう心がけている	20.0%	28.2%	33.9%	31.9%	26.3%	25.0%
3	顔や名前ぐらいは、知っている	30.0%	29.1%	22.8%	30.2%	21.1%	25.0%
4	プライバシーがあり、あまり関わらないようにしている	10.0%	7.3%	4.7%	4.9%	0.0%	4.2%
5	関わりたくない、またはその必要がない	5.0%	3.6%	0.6%	2.8%	0.0%	0.0%
6	その他	20.0%	3.6%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	総回答数	20	107	167	284	19	24

居住年数が20年超になると、近所づきあいを大切にしている傾向が強い。

7. 住居形態と近所づきあいへの考え方 (保問8、保問16)

Q8		1	2	3	4	5
Q 16	住居形態と近所付き合い	一戸建て持ち家	分譲マンション	公団・市営 ・県営住宅	賃貸マンショ ン・アパート ・貸家	その他
	回答者数	469	47	20	82	7
1	日頃から大切にしている	32.8%	23.4%	20.0%	19.5%	28.6%
2	万一の際は、互いに助け合えるよ う心がけている	32.2%	27.7%	20.0%	31.7%	28.6%
3	顔や名前ぐらいは、知っている	27.3%	34.0%	30.0%	25.6%	28.6%
4	プライバシーがあり、あまり関わ らないようにしている	4.3%	8.5%	0.0%	11.0%	0.0%
5	関わりたくない、またはその必要 がない	0.9%	0.0%	15.0%	6.1%	14.3%
6	その他	1.1%	2.1%	10.0%	6.1%	0.0%
	総回答数	462	45	19	82	7

持ち家と賃貸では、持ち家の人の方が近所づきあいを大切にしている傾向が強い。

8. 近所づきあいとコミュニケーション頻度 (保問16、保問17)

Q17		1	2	3	4	5	6	
Q 16	近所づきあいの考え方と 近所との世間話をする機会頻度	ほとんど 毎日	週に2~ 3回程度	週に1回 程度	月に1~ 2回程度	ほとん どない	その他	無回答
	回答者数	60	130	129	131	167	11	1
1	日頃から大切にしている	24.3%	33.3%	20.6%	12.7%	5.3%	3.2%	0.5%
2	万一の際は、互いに助け合えるよ う心がけている	5.1%	23.7%	30.3%	25.8%	13.6%	1.5%	0.0%
3	顔や名前ぐらいは、知っている	1.7%	10.7%	14.1%	27.1%	45.2%	1.1%	0.0%
4	プライバシーがあり、あまり関わ らないようにしている	0.0%	0.0%	6.1%	18.2%	75.8%	0.0%	0.0%
5	関わりたくない、またはその必要 がない	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	92.9%	0.0%	0.0%
6	その他	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	92.3%	0.0%	0.0%
	回答総数	59	129	127	130	167	11	

近所づきあいを大切にしている人ほど、近所とのコミュニケーションをとる機会を持っている傾向がある。一方で、近所づきあいをしたくない人ほど、近所とのコミュニケーションをとる機会がないというように、近所づきあいの考え方と近所とのコミュニケーション頻度には関係性がある。

9. 近所づきあいの考え方と近所の課題の関係性 (保問16、保問18)

10Q	Q16 近所付き合いの考え方と 近所の課題	1	2	3	4	5	6
		日頃から大切にしている	万の際は、互いに助け合えるよう心がけている	顔や名前くらいは、知っている	プライバシーがあり、あまり関わらないようにしている	関わりたくない、またはその必要がない	その他
		188	198	177	33	14	13
1	住民のモラル	23.4%	15.2%	18.1%	12.1%	28.6%	23.1%
2	担い手不足	12.8%	15.7%	10.2%	6.1%	7.1%	15.4%
3	交流不足、近隣関係の希薄	6.4%	12.1%	6.8%	9.1%	7.1%	15.4%
4	防犯・治安	6.9%	9.1%	5.6%	15.2%	14.3%	15.4%
5	生活課題を抱えた住民	3.2%	1.5%	4.5%	6.1%	0.0%	7.7%
6	災害時の体制	4.8%	5.6%	6.2%	9.1%	0.0%	7.7%
7	特になし	58.5%	57.6%	57.1%	57.6%	50.0%	38.5%
8	その他	1.1%	2.5%	4.5%	6.1%	0.0%	15.4%

近所づきあいを大切にしている人の方が、近所の課題として担い手不足を感じている傾向が強い。一方で、近所づきあいをしたくない人の方が、防犯・治安を課題に感じている傾向が強い。

10. 近所づきあいの考え方と近所の課題に対する解決方法の関係性 (保問16、保問19)

10Q	Q16 近所付き合いの考え方と 近所の課題の解決方法	1	2	3	4	5	6
		日頃から大切にしている	万の際は、互いに助け合えるよう心がけている	顔や名前くらいは、知っている	プライバシーがあり、あまり関わらないようにしている	関わりたくない、またはその必要がない	その他
	回答数	78	84	76	14	7	8
1	近所に住む者として、できる範囲で支援したい	46.2%	42.9%	22.4%	28.6%	14.3%	25.0%
2	支援をしたいが、何をすれば良いかわからない	20.5%	17.9%	26.3%	7.1%	0.0%	12.5%
3	支援をしたいが、自分のことで精一杯で、その余裕がない	42.3%	35.7%	47.4%	78.6%	42.9%	50.0%
4	余計なお世話になってしまうので、支援はしない	9.0%	8.3%	22.4%	14.3%	28.6%	12.5%
5	支援は行政の仕事だから、近所の者がしなくてもよい	2.6%	1.2%	2.6%	7.1%	28.6%	0.0%
	その他	2.6%	9.5%	1.3%	0.0%	0.0%	12.5%

近所づきあいを大切にしている人ほど、近所での課題に対して、できる範囲で支援したいと考える傾向が強い。

1 1. 年代別の近所の課題に対する解決方法 (保問 2、保問 1 9)

Q 19 : 年代別の課題解決方法		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
	回答者数	0	196	395	34	2	1
1	近所に住む者として、できる範囲で支援したい		16.3%	13.2%	32.4%	0.0%	0.0%
2	支援をしたいが、何をすれば良いかわからない		9.2%	8.6%	2.9%	0.0%	0.0%
3	支援をしたいが、自分のことで精一杯で、その余力がない		20.9%	18.5%	11.8%	0.0%	0.0%
4	余計なお世話になってしまうので、支援はしない		5.6%	5.8%	5.9%	0.0%	0.0%
5	支援は行政の仕事だから、近所の者がしなくてもよい		2.6%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
6	その他		1.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	回答総数		109	197	18	0	0

年齢層が低いほど、近所の課題に対して、支援をしたいが自分のことで精一杯で余力がないと考える傾向が強い。

1 2. コミュニケーション頻度と近所の課題に対する解決方法の関係性

(保問 1 7、保問 1 9)

Q 19 Q 17 コミュニケーション頻度と 近所の課題解決の考え方		1	2	3	4	5	6
		ほとんど毎日	週に2~3回程度	週に1回程度	月に1~2回程度	ほとんどない	その他
	回答者数	32	64	62	73	87	8
1	近所に住む者として、できる範囲で支援したい	53.1%	34.4%	32.3%	30.1%	18.4%	0.0%
2	支援をしたいが、何をすれば良いかわからない	9.4%	21.9%	19.4%	12.3%	13.8%	50.0%
3	支援をしたいが、自分のことで精一杯で、その余力がない	15.6%	32.8%	33.9%	41.1%	44.8%	25.0%
4	余計なお世話になってしまうので、支援はしない	18.8%	6.3%	4.8%	9.6%	16.1%	25.0%
5	支援は行政の仕事だから、近所の者がしなくてもよい	0.0%	3.1%	3.2%	2.7%	3.4%	0.0%
6	その他	3.1%	1.6%	6.5%	4.1%	3.4%	0.0%

コミュニケーション頻度が多いほど、近所の課題に対して、できる範囲で支援をしたいと考える傾向が強い。一方で、コミュニケーション頻度が少ないほど、近所の課題に対して、支援をしたいが自分のことで精一杯で余力がないと考える傾向が強い。

1 3. 年代別の自治会に加入をして良かった理由 (保問 2、保問 2 1)

Q 2 1 : 自治会に加入して良かったこと		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
	回答者数	0	162	341	30	1	1
1	自治会内のさまざまな情報が入手できる		41.4%	38.7%	50.0%	0.0%	100.0%
2	良好な近所づきあいにつながる		38.3%	41.6%	43.3%	100.0%	100.0%
3	地域の生活課題の解決につながる		8.0%	15.0%	13.3%	0.0%	100.0%
4	災害時、お互いに助け合うことができる		35.8%	29.6%	23.3%	100.0%	100.0%
5	特にない		31.5%	29.3%	26.7%	0.0%	0.0%
6	その他		1.9%	2.6%	3.3%	0.0%	0.0%
	回答総数		254	535	48	2	4

自治会加入の利点として、年齢層が高くなるほど「良好な近所づきあいにつながる」を、年齢層が低くなるほど「災害時の助け合い」を回答している傾向がある。

1 4. 年代別の自治会に加入しない理由 (保問 2、保問 2 2)

Q 2 2 : 自治会に加入しない理由		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
	回答者数	0	29	51	4	0	0
1	自治会活動は必要ないと思う		20.7%	9.8%	0.0%		
2	自治会が何をしているのか分からない		17.2%	15.7%	25.0%		
3	自治会の役員・班長ができない		17.2%	19.6%	25.0%		
4	自治会費の支払いが困難		17.2%	9.8%	25.0%		
5	近所づきあいが煩わしい		13.8%	5.9%	50.0%		
6	仕事・家族の世話などで時間がない		20.7%	25.5%	50.0%		
7	自治会がない		6.9%	17.6%	0.0%		
8	特にない		13.8%	17.6%	0.0%		
9	その他		34.5%	25.5%	25.0%		
	回答総数		47	75	8	0	0

自治会に加入しない理由として、年齢層が低くなるほど「自治会活動は必要ない」と回答している傾向がある。一方で、年齢層が高くなるほど「仕事・家族の世話で時間がない」と回答している傾向がある。

(3) 地域活動に関すること

15. 年代別の地域のつながりの必要性に対する考え方 (保問2、保問23)

Q23：地域のつながりの必要性		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
	回答者数	0	196	395	34	2	1
1	とても必要だと思う		28.1%	29.4%	35.3%	0.0%	100.0%
2	まあまあ必要だと思う		60.2%	64.3%	47.1%	50.0%	0.0%
3	あまり必要ないと思う		8.2%	3.5%	14.7%	0.0%	0.0%
4	必要ないと思う		1.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
5	その他		0.0%	0.3%	2.9%	0.0%	0.0%
	回答総数		191	388	34	1	1

地域のつながりの必要性について、60歳未満で見た時に、年齢層が高いほど「とても必要だと思う」という回答が多い。

16. 住居形態別の地域のつながりの必要性に対する考え方 (保問8、保問23)

Q8 Q23 居住形態と地域のつながりの必要性		1	2	3	4	5
		一戸建て持ち家	分譲マンション	公団・市営・県営住宅	賃貸マンション・アパート・貸家	その他
	回答者数	469	47	20	82	7
1	とても必要だと思う	31.3%	34.0%	10.0%	19.3%	28.6%
2	まあまあ必要だと思う	61.2%	57.4%	65.0%	69.9%	71.4%
3	あまり必要ないと思う	4.9%	6.4%	10.0%	8.4%	0.0%
4	必要ないと思う	0.6%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%
5	その他	0.2%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%
	総回答数	461	47	18	81	7

地域のつながりの必要性について、持ち家の人の方が賃貸の人よりも「とても必要だと思う」と回答する傾向が強い。

17. 近所づきあいの大切さと近所づきあいの必要性に対する考え方の関係性
(保問16、保問23)

Q16		1	2	3	4	5	6
Q23 近所付き合いの考え方と地域のつながりの必要性		1 日頃から大切にしている	2 万の際、互いに助け合えるよう心がけている	3 顔や名前ぐらいは、知っている	4 プライバシーがあり、あまり関わらないようにしている	5 関わりたくない、まだはその必要がない	6 その他
	回答数	188	198	177	33	14	13
1	とても必要だと思う	48.9%	26.8%	16.4%	21.2%	14.3%	7.7%
2	まあまあ必要だと思う	48.9%	69.2%	71.2%	54.5%	28.6%	76.9%
3	あまり必要ないと思う	2.1%	3.0%	7.9%	21.2%	35.7%	7.7%
4	必要ないと思う	0.0%	0.0%	1.7%	3.0%	7.1%	0.0%
5	その他	0.0%	0.5%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%

近所づきあいの必要性を感じていない人ほど、地域のつながりの必要性を感じていない傾向が強い。

18. 年代別の住民相互の支え合いに対する考え方 (保問2、保問24)

① あいさつや声かけ

Q24(1)：あいさつや声かけ		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	回答者数	0	196	395	34	2	1
1	とても必要だと思う		79.6%	82.5%	88.2%	50.0%	100.0%
2	まあまあ必要だと思う		16.8%	15.7%	11.8%	0.0%	0.0%
3	あまり必要ないと思う		0.5%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
4	必要ないと思う		1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	その他		0.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	回答総数		193	393	34	1	1

60歳未満で見た場合、年齢層が高くなるほど「あいさつや声かけ」に対する必要性は高く感じている傾向がある。

② 話し相手

Q24(2)：話し相手		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	回答者数	0	196	395	34	2	1
1	とても必要だと思う		36.2%	38.7%	41.2%	50.0%	100.0%
2	まあまあ必要だと思う		45.4%	45.8%	41.2%	0.0%	0.0%
3	あまり必要ないと思う		11.7%	11.4%	11.8%	0.0%	0.0%
4	必要ないと思う		4.1%	2.3%	5.9%	0.0%	0.0%
5	その他		0.5%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	回答総数		192	392	34	1	1

年齢層が高くなるほど、話し相手の必要性を感じている傾向がある。

③ 気軽に出かけられる地域のサロンの運営

Q24(3)：地域のサロン運営		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	回答者数	0	196	395	34	2	1
1	とても必要だと思う		23.5%	23.3%	23.5%	0.0%	100.0%
2	まあまあ必要だと思う		44.4%	48.6%	47.1%	0.0%	0.0%
3	あまり必要ないと思う		21.4%	15.7%	8.8%	50.0%	0.0%
4	必要ないと思う		4.6%	6.3%	14.7%	0.0%	0.0%
5	その他		4.6%	5.3%	5.9%	0.0%	0.0%
	回答総数		193	392	34	1	1

年齢層が低くなるほど、サロンの必要性を感じていない傾向がある。

④ 相談相手

Q24(4)：相談相手		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	回答者数	0	196	395	34	2	1
1	とても必要だと思う		33.2%	32.9%	38.2%	0.0%	100.0%
2	まあまあ必要だと思う		39.3%	44.3%	32.4%	0.0%	0.0%
3	あまり必要ないと思う		18.9%	12.2%	11.8%	50.0%	0.0%
4	必要ないと思う		2.6%	6.1%	5.9%	0.0%	0.0%
5	その他		4.1%	3.8%	11.8%	0.0%	0.0%
	回答総数		192	392	34	1	1

年齢層が低くなるほど、相談相手の必要性について「あまり必要ない」と回答している傾向がある。

⑤ ゴミ出し

Q24(5)：ゴミ出し		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	回答者数	0	196	395	34	2	1
1	とても必要だと思う		46.9%	47.3%	55.9%	0.0%	100.0%
2	まあまあ必要だと思う		27.6%	33.7%	20.6%	50.0%	0.0%
3	あまり必要ないと思う		11.2%	7.8%	11.8%	0.0%	0.0%
4	必要ないと思う		6.1%	4.3%	5.9%	0.0%	0.0%
5	その他		5.1%	5.3%	5.9%	0.0%	0.0%
	回答総数		190	389	34	1	1

年齢層が高くなるほど、ゴミ出しの必要性を感じている傾向が強い。

⑥ 病院などへの送迎

Q24(6)：病院などへの送迎		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	回答者数	0	196	395	34	2	1
1	とても必要だと思う		28.1%	27.8%	23.5%	0.0%	100.0%
2	まあまあ必要だと思う		43.4%	41.0%	47.1%	0.0%	0.0%
3	あまり必要ないと思う		14.8%	14.4%	20.6%	50.0%	0.0%
4	必要ないと思う		6.1%	9.1%	5.9%	0.0%	0.0%
5	その他		5.6%	7.1%	2.9%	0.0%	0.0%
	回答総数		192	393	34	1	1

どの年齢層でも、送迎の必要性についてほとんど変わらない。

⑦ 日用品の買い物

Q24(7)：日用品の買い物		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	回答者数	0	196	395	34	2	1
1	とても必要だと思う		19.9%	19.0%	26.5%	0.0%	100.0%
2	まあまあ必要だと思う		45.4%	45.1%	41.2%	0.0%	0.0%
3	あまり必要ないと思う		18.9%	18.5%	17.6%	50.0%	0.0%
4	必要ないと思う		8.2%	9.1%	5.9%	0.0%	0.0%
5	その他		5.6%	7.8%	8.8%	0.0%	0.0%
	回答総数		192	393	34	1	1

どの年齢層でも、買い物の必要性についてほとんど変わらない。

⑧ 避難の手助け

Q24(8)：避難の手助け		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	回答者数	0	196	395	34	2	1
1	とても必要だと思う		74.0%	69.1%	70.6%	50.0%	100.0%
2	まあまあ必要だと思う		19.4%	26.6%	26.5%	0.0%	0.0%
3	あまり必要ないと思う		0.5%	1.8%	2.9%	0.0%	0.0%
4	必要ないと思う		1.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
5	その他		2.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	回答総数		190	393	34	1	1

どの年齢層でも、避難の手助けの必要性についてほとんど変わらない。

19. 年代別の地域活動を始めた動機 (保問2、保問16)

Q26：地域活動を始めた動機		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	回答者数	0	125	267	20	1	1
1	家族や友人に誘われたから		28.8%	24.3%	20.0%	0.0%	0.0%
2	自治会などから声がかかったから		52.0%	41.6%	50.0%	100.0%	0.0%
3	活動の趣旨・目的に賛同したから		12.8%	12.0%	20.0%	0.0%	0.0%
4	仕事や子育て等が終わり、時間に余裕ができたから		0.0%	2.2%	5.0%	0.0%	0.0%
5	災害を契機として関心を持ったから		0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
6	家族、友人等に困っている人がいて、力になろうと思ったから		1.6%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%
7	自分の居場所を作ろうと思ったから		4.0%	2.6%	10.0%	0.0%	100.0%
8	その他		16.8%	22.1%	25.0%	0.0%	0.0%
	回答総数		145	290	26	1	1

どの年齢層でも「声がかかったから」という回答が多い。

年齢層が低くなるほど、「家族や友人に誘われたから」と回答している傾向がある。

20. 年代別の地域活動への参加意欲 (保問2、保問28)

Q28：地域活動への参加		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	回答者数	0	196	395	34	2	1
1	参加したいと思う		10.7%	9.4%	14.7%	0.0%	0.0%
2	まあ参加したいと思う		33.2%	38.7%	32.4%	50.0%	0.0%
3	あまり参加したいと思わない		26.5%	18.7%	20.6%	0.0%	0.0%
4	参加したいと思わない		8.7%	7.1%	8.8%	0.0%	100.0%
5	分からない		10.7%	17.7%	14.7%	0.0%	0.0%
6	その他		6.6%	3.5%	5.9%	0.0%	0.0%
	回答総数		189	376	33	1	1

どの年齢層でも、地域活動への参加意欲についてほとんど変わらない。

21. 年代別の地域活動への参加をしたくない理由 (保問2、保問29)

Q29：地域活動不参加の理由		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	回答者数	0	69	102	10	0	1
1	仕事を持っているので時間がない		78.3%	83.3%	100.0%		0.0%
2	どのような活動があるのか情報がない		14.5%	11.8%	0.0%		0.0%
3	興味の持てる活動が見当たらない		23.2%	18.6%	30.0%		0.0%
4	健康や体力に自信がない		7.2%	16.7%	10.0%		0.0%
5	家事・育児に忙しくて時間がない		75.4%	52.9%	20.0%		100.0%
6	病人・高齢者・障害者の介護などで時間がない		4.3%	4.9%	20.0%		0.0%
7	地域活動をする上での経済的負担が大きい		11.6%	6.9%	10.0%		0.0%
8	家族の理解がない		8.7%	6.9%	0.0%		0.0%
9	地域にあまり関わりたくない		13.0%	7.8%	20.0%		0.0%
10	地域活動は必要がないと思う		10.1%	4.9%	10.0%		0.0%
11	その他		7.2%	9.8%	10.0%		0.0%
	回答総数		175	229	23	0	1

地域活動への参加をしたくない理由として、年齢層が高くなるほど「仕事を持っているので時間がない」、年齢層が低くなるほど「家事・育児に忙しくて時間がない」と回答している傾向が強い。

(4) 災害時に住民が支え合う地域づくりに関すること

2.2. 年代別の災害時に住民が支え合う地域づくりに必要なこと

(保問2、保問32)

Q32：地域づくりに必要なこと		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	回答者数	0	196	395	34	2	1
1	日頃からのあいさつ、声かけやお付き合い		72.4%	77.0%	76.5%	50.0%	100.0%
2	防災などに関する勉強会		27.0%	28.4%	14.7%	0.0%	100.0%
3	地域に居住する災害時要援護者の把握		21.4%	19.0%	32.4%	50.0%	0.0%
4	地域での定期的な避難訓練		17.3%	25.1%	14.7%	0.0%	0.0%
5	自主防災組織づくり		11.2%	11.9%	17.6%	0.0%	0.0%
6	福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携		12.8%	10.4%	14.7%	0.0%	100.0%
7	分からない		14.8%	7.3%	11.8%	0.0%	0.0%
8	その他		1.5%	0.8%	2.9%	0.0%	0.0%
	回答総数		350	710	63	2	3

どの年齢層でも、災害時に支え合う地域づくりには「日頃からのあいさつやお付き合い」の必要性を感じている傾向がある。

50歳未満の年齢層では「防災の勉強会」、40歳代では「定期的な避難訓練」が地域づくりに必要であると感じている回答が多い。

2.3. 年代別の災害時に住民が支え合う地域づくりとしてできること

(保問2、保問33)

Q33：地域づくりにできること		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	回答者数	0	196	395	34	2	1
1	日頃からのあいさつ、声かけやお付き合い		81.6%	84.3%	85.3%	50.0%	100.0%
2	防災などに関する勉強会への参加		17.9%	18.2%	17.6%	0.0%	100.0%
3	地域での定期的な避難訓練への参加		21.4%	29.4%	23.5%	0.0%	0.0%
4	地域での平常時からの見守り支援への参加		9.7%	14.7%	11.8%	0.0%	0.0%
5	自主防災組織への参加		3.6%	5.6%	14.7%	0.0%	0.0%
6	要援護者避難支援プランにおける支援者としての参画		2.0%	3.3%	8.8%	0.0%	0.0%
7	分からない		14.8%	9.1%	14.7%	0.0%	0.0%
8	その他		1.0%	0.5%	2.9%	0.0%	0.0%
	回答総数		298	652	61	1	2

どの年齢層でも、災害時に支え合う地域づくりとしてできることは「日頃からのあつさつや付き合い」を回答している人が多い。

40歳代では「定期的な避難訓練への参加」、50歳代では「自主防災組織への参加」が地域づくりとしてできるとした回答が多い。

(5) 身近に感じる地域とこれからの地域福祉に関すること

24. 地域に対する愛着と暮らしやすさの関係性 (保問35、保問36)

Q36	Q35	1	2	3	4
	地域への愛着度と 地域の暮らしやすさ	とても愛着 がある	ある程度 愛着がある	あまり愛着 がない	まったく 愛着がない
	回答者数	64	432	158	27
1	暮らしやすい	68.8%	23.6%	5.7%	7.4%
2	どちらかと言うと暮らしやすい	26.6%	63.4%	41.8%	11.1%
3	どちらともいえない	4.7%	10.6%	40.5%	55.6%
4	どちらかと言うと暮らしにくい	0.0%	1.6%	10.1%	7.4%
5	暮らしにくい	0.0%	0.5%	0.6%	18.5%
	回答総数	64	431	156	27

地域に愛着をもっている人ほど、住んでいる地域を暮らしやすいと感じている傾向が強い。

25. 年代別の社会福祉協議会の認知度 (保問2、保問39)

Q39: 社協を知っているか	1	2	3	4	5	6	
	29歳以下	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
回答者数	0	196	395	34	2	1	
1	名前も活動も知っている		15.8%	15.2%	47.1%	50.0%	100.0%
2	活動は知らないが名前は知っている		40.3%	50.9%	32.4%	0.0%	0.0%
3	名前も活動も知らない		40.8%	29.9%	20.6%	0.0%	0.0%
4	その他		1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	回答総数		192	383	34	1	1

年齢層が低くなるほど、社会福祉協議会の認知度が低い傾向が強い。

26. 年代別の民生委員の認知度 (保問2、保問40)

Q40: 民生委員を知っているか	1	2	3	4	5	6	
	29歳以下	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
回答者数	0	196	395	34	2	1	
1	名前も活動も知っている		8.7%	11.1%	20.6%	50.0%	0.0%
2	活動は知らないが名前は知っている		36.2%	37.7%	41.2%	0.0%	100.0%
3	名前も活動も知らない		10.7%	11.4%	8.8%	0.0%	0.0%
4	その他		43.4%	36.5%	26.5%	0.0%	0.0%
	回答総数		194	382	33	1	1

どの年齢層でも、民生委員という「名前は知っている」との回答が多い。

27. 年代別の暮らしやすい地域にしていくための考え方 (保問2、保問4 1)

Q41：地域に必要なこと		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	回答者数	0	196	395	34	2	1
1	家族内での支え合い		34.2%	26.3%	26.5%	50.0%	0.0%
2	ご近所づきあい、住民相互の交流		43.4%	40.5%	35.3%	50.0%	0.0%
3	地域住民の支え合いや助け合い		31.1%	29.6%	29.4%	0.0%	100.0%
4	自治会活動の活性化		8.2%	9.9%	8.8%	0.0%	0.0%
5	身近な相談相手である民生委員の増員		2.0%	1.8%	2.9%	0.0%	0.0%
6	NPO法人等が行う福祉サービスの充実		1.5%	4.6%	5.9%	0.0%	0.0%
7	福祉・保健等に関する情報提供の充実		11.7%	14.7%	29.4%	0.0%	100.0%
8	公的福祉サービスの対象とならない方への援護		9.7%	9.4%	11.8%	0.0%	0.0%
9	単身者等の社会的孤立の予防		8.7%	7.8%	14.7%	0.0%	0.0%
10	市役所での福祉サービス手続の簡略化		15.8%	14.7%	17.6%	0.0%	0.0%
11	年金など、社会保障の充実		28.1%	33.7%	41.2%	0.0%	0.0%
12	介護など、公的福祉サービスの充実		23.5%	25.8%	26.5%	0.0%	100.0%
13	医療、医療機関の充実		22.4%	25.8%	20.6%	0.0%	0.0%
14	その他（具体的に）		2.0%	2.5%	2.9%	0.0%	0.0%
	回答総数		475	976	93	2	3

60歳未満で見た場合、年齢層が低くなるほど、「家族内での支え合い」や「近所づきあい、住民相互の交流」の必要性を感じている傾向が強い。

一方で、年齢層が高くなるほど、「情報提供の充実」や「社会保障の充実」の必要性を感じている傾向が強い。

28. 年代別の地域福祉の充実のために市や社会福祉協議会が優先的に取り組むべきこと（保問2、保問43）

Q43：地域福祉で取組むべきこと		1	2	3	4	5	6
		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	回答者数	0	196	395	34	2	1
1	小中学校等における福祉教育の充実		48.5%	45.6%	38.2%	50.0%	0.0%
2	地域における災害時の体制整備		33.7%	42.0%	32.4%	0.0%	0.0%
3	地域福祉に関連する人材の育成		18.4%	19.5%	26.5%	0.0%	0.0%
4	福祉に関連する事業者の育成		10.2%	9.9%	2.9%	0.0%	100.0%
5	地域福祉活動団体による福祉サービスの充実・質の向上		16.8%	18.7%	8.8%	0.0%	0.0%
6	福祉に関する総合相談など、相談体制の充実		16.3%	17.7%	23.5%	50.0%	100.0%
7	成年後見制度の利用促進や権利擁護事業の推進		2.6%	4.6%	11.8%	0.0%	100.0%
8	関係機関の連携の推進		10.2%	11.4%	17.6%	0.0%	0.0%
9	情報提供体制の充実		12.8%	20.0%	20.6%	0.0%	0.0%
10	地域福祉懇談会など地域情報共有の充実		1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11	ボランティア、NPOや福祉事業者との協働		4.6%	6.6%	14.7%	0.0%	0.0%
12	地域活動への参加の促進		3.6%	6.8%	8.8%	0.0%	0.0%
13	世代間交流の促進		7.7%	9.6%	11.8%	0.0%	0.0%
14	その他		2.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	回答総数		369	851	74	2	3

60歳未満で見た場合、地域福祉の充実のためには、年齢層が低くなるほど、「小中学校等における福祉教育の充実」の必要性を感じている傾向が強い。

一方で、年齢層が高くなるほど、「地域福祉に関連する人材の育成」や「相談体制の充実」「情報提供体制の充実」の必要性を感じている傾向が強い。

第3節 クロス集計の結果【親子調査独自箇所】

(1) 児童・生徒の学年等による差異

1. 近所にいるおじいさんへの手助けに対する学年の差異

(児問2、児問14)

Q2 と Q14 学年別高齢者への手助け		学年	
		小学校5年生	中学校2年生
Q14	回答者数	417	212
1	積極的に声をかけ、手助けする	44.4%	36.8%
2	向こうが助けを求めてきたら、手助けする	37.2%	44.8%
3	どうしたらよいか、わからない	13.7%	10.8%
4	手助けなどはしたくない。多分しないと思う	1.2%	3.3%
5	その他	1.4%	3.3%
	無回答	2.2%	0.9%
	総回答数	417	212

困っている高齢者への接し方について、中学校2年生よりも小学校5年生の方が「積極的に声をかけ、手助けをする」との回答が多い。

2. 近所にいるおじいさんへの手助けに対する家族構成の差異

(児問14、保問7)

保Q7 家族構成による、子どもの道で困ってる高齢者への接し方		1	2	3
		親と子の 押し代り	親と子と孫の 押し代り	その他
児Q14	回答者数	524	78	18
1	積極的に声をかけ、手助けする	41.8%	38.5%	44.4%
2	向こうが助けを求めてきたら、手助けする	38.7%	46.2%	44.4%
3	どうしたらよいか、わからない	13.7%	6.4%	11.1%
4	手助けなどはしたくない。多分しないと思う	1.9%	2.6%	0.0%
5	その他	1.9%	2.6%	0.0%
	無回答	1.9%	3.8%	0.0%

困っている高齢者への接し方について、祖父母と同居していない児童・生徒の方が「どうしたらよいか、わからない」との回答が多い。

3. 近所にいる「障がい」のある方への手助けに対する学年の差異

(児問2、児問15)

Q2 と Q15 学年別障害者への手助け		学年	
		小学校5年生	中学校2年生
Q14	回答者数	417	212
1	積極的に声をかけ、手助けする	44.1%	38.7%
2	向こうが助けを求めてきたら、手助けする	30.2%	41.5%
3	どうしたらよいか、わからない	18.9%	16.5%
4	手助けなどはしたくない。多分しないと思う	3.1%	2.4%
5	その他	1.7%	0.9%
	無回答	1.9%	0.0%
	総回答数	417	212

困っている障がい者への接し方について、小学校5年生よりも中学校2年生の方が「向こうが助けを求めてきたら、手助けをする」との回答が多い。

4. 近所にいる「障がい」のある方への手助けに対する家族構成の差異

(児問15、保問7)

保Q7 家族構成による、子どもの道で困ってる障害者への接し方		1	2	3
		親の子の 孫の子	親の子の 孫の子	その他
児 Q15	回答者数	524	78	18
1	積極的に声をかけ、手助けする	40.5%	43.6%	55.6%
2	向こうが助けを求めてきたら、手助けする	34.2%	35.9%	22.2%
3	どうしたらよいか、わからない	19.3%	9.0%	22.2%
4	手助けなどはしたくない。多分しないと思う	2.5%	6.4%	0.0%
5	その他	1.9%	2.6%	0.0%
	無回答	1.7%	2.6%	0.0%

困っている障がい者への接し方について、祖父母と同居していない児童・生徒の方が「どうしたらよいか、わからない」との回答が多い。

5. 校内で困っている児童・生徒への手助けに対する学年の差異

(児問2、児問16)

Q2 と Q16 学年別困っている生徒への手助け		学年	
		小学校5年生	中学校2年生
Q16	回答者数	417	212
1	積極的に声をかけ、手助けする	62.8%	53.3%
2	向こうが助けを求めてきたら、手助けする	28.3%	37.3%
3	どうしたらよいか、わからない	5.0%	5.2%
4	手助けなどはしたくない。多分しないと思う	1.7%	3.3%
5	その他	0.7%	0.9%
	無回答	1.4%	0.0%
	総回答数	417	212

困っている児童・生徒への接し方として、中学校2年生よりも小学校5年生の方が「積極的に声をかけ、手助けをする」との回答が多い。

6. 校内で困っている児童・生徒への手助けに対する家族構成の差異

(児問16、保問7)

保Q7 家族構成による、子どもの校内で困ってる児童・生徒への接し方		1	2	3
		親と子の二世帯世帯	親と子と孫の三世帯世帯	その他
児問16	回答者数	524	78	18
1	積極的に声をかけ、手助けする	58.6%	57.7%	66.7%
2	向こうが助けを求めてきたら、手助けする	30.5%	35.9%	33.3%
3	どうしたらよいか、わからない	5.5%	2.6%	0.0%
4	手助けなどはしたくない。多分しないと思う	2.5%	1.3%	0.0%
5	その他	1.0%	1.3%	0.0%
	無回答	1.9%	1.3%	0.0%

困っている児童・生徒への接し方として、家族構成による差異はほとんど見られない。

7. 困っている時の相談相手に対する学年の差異 (児問2、児問17)

Q2 と Q17 学年別困った時の相談先		学年	
		小学校5年生	中学校2年生
Q17	回答者数	417	212
1	家族	86.8%	70.8%
2	親戚	16.8%	10.4%
3	学校の先生	32.6%	24.1%
4	学校や近所の友達、先輩・後輩	47.2%	64.6%
5	インターネット上の友達、知り合い	4.8%	7.5%
6	近所の大人	5.3%	3.3%
7	相談できる人がいない	2.4%	5.7%
8	その他	3.1%	5.7%
	総回答数	830	407

児童・生徒自身が困っている時の相談相手について、中学校2年生よりも小学校5年生の方が「家族」や「学校の先生」との回答をする傾向が強い。一方で、小学校5年生よりも中学校2年生の方が「学校や近所の友達、先輩・後輩」との回答をする傾向が強い。

(2) 保護者の福祉教育・家庭教育の考え方に関すること

8. 保護者が考える子どもによる気づき・手助けと学年の差異

(児問2、保問44)

		児Q2	学年	
			小学校 5年生	中学校 2年生
保	Q44	回答者数	417	212
	1	できていると思う	18.9%	24.5%
	2	どちらかと言うとできていると思う	49.9%	40.6%
	3	どちらともいえないと思う	22.1%	24.5%
	4	どちらかと言うとできていないと思う	4.8%	6.6%
	5	その他	1.2%	0.9%
		無回答	3.1%	2.8%

子どもによる困っている人への配慮について、保護者の考えに対する学年による差異はほとんど見られない。

9. 家庭での福祉教育と学年の差異 (児問2、保問48)

		児Q2	学年	
			小学校 5年生	中学校 2年生
保	Q48	回答者数	417	212
	1	きちんと教えている・教えるべきだ	16.3%	16.5%
	2	機会があれば教えている・教えるべきだ	62.1%	61.3%
	3	あまりできていない	15.1%	15.1%
	4	どう教えたらよいか、わからない	1.9%	2.8%
	5	その他	1.0%	0.5%
		無回答	3.6%	3.8%

家庭での福祉教育の必要性について、学年による差異はほとんど見られない。

10. 家庭での福祉教育と保護者が考える子どもによる気づき・手助けの関係性（保問44、保問48）

保Q44		1	2	3	4	5
保 Q48	高齢者などへの配慮について、家庭での教えと子どもが困っている人への手助けができて いるか	できている と思 う	どちらかとい うことでは ないと思 う	どちらかとい うことでは ないと思 う	どちらかとい うことでは ないと思 う	その他
	回答者数	132	299	146	34	7
1	きちんと教えている・教えるべきだ	35.6%	14.7%	8.2%	0.0%	0.0%
2	機会があれば教えている・教えるべきだ	56.1%	66.2%	70.5%	44.1%	14.3%
3	あまりできていない	4.5%	14.7%	17.1%	47.1%	85.7%
4	どう教えたらよいか、わからない	0.8%	2.3%	2.7%	8.8%	0.0%
5	その他	1.5%	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%
	無回答	1.5%	1.3%	0.7%	0.0%	0.0%

家庭での福祉教育を教えている保護者ほど、子どもによる困っている人への配慮をできていると思っている傾向が強い。

11. 福祉教育の必要性と家庭での福祉教育の関係性（保問45、保問48）

保Q45		1	2	3	4	5
保 Q48	高齢者への配慮や接し方について考え・実践する「福祉教育」の必要性和、家庭での子どもへの教育	とても必要だ と思 う	他の教育やしつ け回しを 必要だと思 う	あまり必要で はないと思 う	必要ない	その他
	回答者数	282	300	23	3	8
1	きちんと教えている・教えるべきだ	23.0%	11.0%	17.4%	0.0%	0.0%
2	機会があれば教えている・教えるべきだ	61.7%	66.3%	52.2%	66.7%	25.0%
3	あまりできていない	11.7%	19.7%	13.0%	0.0%	37.5%
4	どう教えたらよいか、わからない	1.4%	2.0%	13.0%	33.3%	12.5%
5	その他	0.7%	0.3%	4.3%	0.0%	12.5%
	無回答	1.4%	0.7%	0.0%	0.0%	12.5%

福祉教育の必要性を感じている保護者ほど、家庭での福祉教育に取り組んでいる傾向がある。

1 2. 保護者が考える適切な福祉教育の内容（保問46、保問47）

保Q46		1	2	3	4	5
保 Q47	学校での福祉教育の現状は適切に行われているかどうかと効果的だと思われる方法	行われていると思う	あまり行われていないと思う	行われていないと思う	学校での福祉教育は、必要ないと思う	その他
	回答者数	278	247	39	5	31
1	体が不自由な方の疑似体験（車椅子に乗る）	42.8%	30.4%	20.5%	0.0%	16.1%
2	目が不自由な方の疑似体験	36.7%	27.5%	25.6%	0.0%	12.9%
3	お年寄りの疑似体験	27.3%	28.7%	25.6%	0.0%	16.1%
4	障がいがある方の体験などを聞く	35.3%	32.0%	20.5%	20.0%	16.1%
5	手話や点字などの技術を学ぶ	20.1%	19.4%	25.6%	40.0%	32.3%
6	福祉施設などでボランティア活動を行う	47.8%	50.6%	43.6%	0.0%	45.2%
7	バリアフリーに関する調査を行う	2.9%	2.0%	7.7%	20.0%	3.2%
8	教科書や読本、テレビ、映像を見て学習する	8.3%	9.7%	0.0%	20.0%	12.9%
9	地域のお年寄りと交流する	42.8%	43.3%	35.9%	40.0%	51.6%
10	特になし	1.1%	2.0%	7.7%	40.0%	0.0%
11	その他	1.8%	3.2%	7.7%	0.0%	16.1%
	総回答数	742	615	86	9	69

学校での福祉教育が適切に行われていないと思う保護者よりも適切に行われていると思う保護者の方が、「体が不自由な方の疑似体験」や「目が不自由な方の疑似体験」を学校で行われる福祉教育として効果的と考えている傾向がある。

(3) 児童・生徒と保護者の考え方の差異

1 3. 保護者が考える子どもによる気づき・手助けと、子どもによる近所にいるおじいさんへの手助けとの関係性 (児問14、保問44)

保Q44		1	2	3	4	5
「保護者の思い」と「高齢者への子どもの思い」		できていると思う	どちらかとうとできていると思う	どちらかともいえないと思う	どちらかとうとできていないと思う	その他
児 Q14	回答者数	132	299	146	34	7
1	積極的に声をかけ、手助けする	55.3%	43.1%	30.1%	35.3%	0.0%
2	向こうが助けを求めてきたら、手助けする	33.3%	41.5%	42.5%	35.3%	57.1%
3	どうしたらよいか、わからない	6.1%	10.0%	20.5%	17.6%	42.9%
4	手助けなどはしたくない、多分しないと思う	2.3%	1.7%	2.1%	2.9%	0.0%
5	その他	2.3%	1.3%	2.7%	2.9%	0.0%
	無回答	0.8%	2.3%	2.1%	5.9%	0.0%
	回答者数	132	299	146	34	7

困っている人への手助けをできていると思っている保護者の児童・生徒ほど、実際に児童・生徒による高齢者への手助けができている傾向が強い。

1 4. 保護者が考える子どもによる気づき・手助けと、子どもによる近所にいる「障がい」のある方への手助けとの関係性 (児問15、保問44)

保Q44		1	2	3	4	5
「保護者の思い」と「障がい者への子どもの思い」		できていると思う	どちらかとうとできていると思う	どちらかともいえないと思う	どちらかとうとできていないと思う	その他
児 Q15	回答者数	1	2	3	4	5
1	積極的に声をかけ、手助けする	54.5%	44.8%	31.5%	23.5%	14.3%
2	向こうが助けを求めてきたら、手助けする	26.5%	31.1%	40.4%	50.0%	28.6%
3	どうしたらよいか、わからない	13.6%	18.1%	19.9%	14.7%	57.1%
4	手助けなどはしたくない、多分しないと思う	3.0%	2.7%	2.7%	5.9%	0.0%
5	その他	1.5%	1.3%	3.4%	0.0%	0.0%
	無回答	0.8%	2.0%	2.1%	5.9%	0.0%
	総回答数	132	299	146	34	7

困っている人への手助けをできていると思っている保護者の児童・生徒ほど、実際に児童・生徒による障がい者への手助けができている傾向が強い。

15. 保護者が考える子どもによる気づき・手助けと、子どもによる校内で困っている児童・生徒への手助けとの関係性（児問16、保問44）

保Q44		1	2	3	4	5
「保護者の思い」と「困っている生徒への子どもの思い」		できていると思う	どちらかと言いつつできていないと思う	どちらともいえないと思う	どちらかと言いつつできていないと思う	その他
児 Q16	回答者数	1	2	3	4	5
1	積極的に声をかけ、手助けする	73.5%	61.2%	47.3%	44.1%	0.0%
2	向こうが助けを求めてきたら、手助けする	22.0%	31.1%	35.6%	35.3%	57.1%
3	どうしたらよいか、わからない	0.8%	3.0%	10.3%	8.8%	42.9%
4	手助けなどはしたくない。多分しないと思う	2.3%	2.3%	1.4%	5.9%	0.0%
5	その他	0.8%	0.7%	2.7%	0.0%	0.0%
	無回答	0.8%	1.7%	2.7%	5.9%	0.0%
	総回答数	132	299	146	34	7

困っている人への手助けをできていると思っている保護者の児童・生徒ほど、実際に児童・生徒への手助けができている傾向が強い。

16. 家庭での福祉教育と子どもによる近所にいるおじいさんへの手助けとの関係性（児問14、保問48）

保Q48		1	2	3	4	5
高齢者等への配慮について、家庭での教育程度と、道で困っている高齢者への接し方		きちんと教えている・教えるべきだ	機会があれば教えている・教えるべきだ	あまりできていない	どう教えたらよいか、わからない	その他
児 Q14	回答者数	103	393	98	15	5
1	積極的に声をかけ、手助けする	42.7%	43.5%	31.6%	46.7%	40.0%
2	向こうが助けを求めてきたら、手助けする	41.7%	39.9%	39.8%	20.0%	40.0%
3	どうしたらよいか、わからない	10.7%	10.9%	21.4%	26.7%	0.0%
4	手助けなどはしたくない。多分しないと思う	1.0%	2.3%	1.0%	0.0%	0.0%
5	その他	1.0%	1.5%	3.1%	6.7%	20.0%
	無回答	2.9%	1.8%	3.1%	0.0%	0.0%

家庭での福祉教育について「あまりできていない」「どう教えたらよいか、わからない」という保護者の児童・生徒ほど、児童・生徒自身も困っている高齢者に対して「どうしたらよいか、わからない」と回答している傾向が強い。

17. 家庭での福祉教育と子どもによる近所にいる「障がい」のある方への
手助けとの関係性（**児**問15、**保**問48）

保Q48		1	2	3	4	5
児 Q15	高齢者等への配慮について、家庭での教育程度と、道で困ってる障害者への接し方	きちんと教えている・教えるべきだ	機会があれば教えている・教えるべきだ	あまりできていない	どう教えたらよいか、わからない	その他
	回答者数	103	393	98	15	5
1	積極的に声をかけ、手助けする	44.7%	43.5%	33.7%	40.0%	20.0%
2	向こうが助けを求めてきたら、手助けする	33.0%	33.8%	34.7%	20.0%	40.0%
3	どうしたらよいか、わからない	14.6%	16.5%	24.5%	33.3%	20.0%
4	手助けなどはしたくない。多分しないと思う	4.9%	2.8%	1.0%	6.7%	0.0%
5	その他	1.0%	1.8%	2.0%	0.0%	20.0%
	無回答	1.9%	1.5%	4.1%	0.0%	0.0%

家庭での福祉教育について「あまりできていない」「どう教えたらよいか、わからない」という保護者の児童・生徒ほど、児童・生徒自身も困っている障がい者に対して「どうしたらよいか、わからない」と回答している傾向が強い。

18. 家庭での福祉教育と子どもによる校内で困っている児童・生徒への
手助けとの関係性（**児**問15、**保**問48）

保Q48		1	2	3	4	5
児 Q16	高齢者等への配慮について、家庭での教育程度と、校内で困ってる児童・生徒への接し方	きちんと教えている・教えるべきだ	機会があれば教えている・教えるべきだ	あまりできていない	どう教えたらよいか、わからない	その他
	回答者数	103	393	98	15	5
1	積極的に声をかけ、手助けする	66.0%	58.8%	53.1%	46.7%	60.0%
2	向こうが助けを求めてきたら、手助けする	25.2%	31.6%	31.6%	46.7%	40.0%
3	どうしたらよいか、わからない	4.9%	4.3%	8.2%	6.7%	0.0%
4	手助けなどはしたくない。多分しないと思う	2.9%	1.5%	4.1%	0.0%	0.0%
5	その他	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	1.0%	2.0%	3.1%	0.0%	0.0%

家庭での福祉教育について「きちんと教えている・教えるべきだ」という保護者の児童・生徒ほど、児童・生徒人も困っている児童・生徒に対して「積極的に声をかけ、手助けする」と回答している傾向が強い。